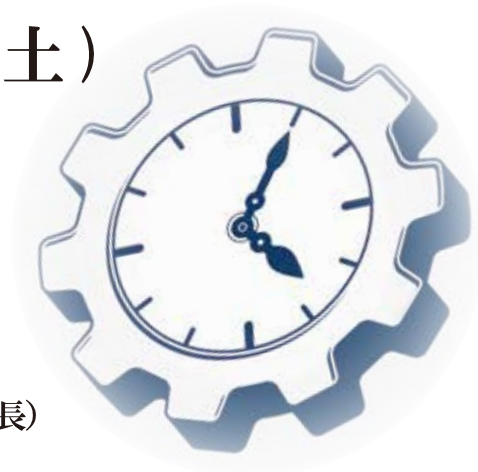




第7回 日本時間栄養学会学術大会

2020年8月28日(金)~29日(土)

ZOOM オンライン開催



大会長：柴田重信 (早稲田大学 教授、日本時間栄養学会会長)
大会実行委員長：田原優 (早稲田大学 准教授)

第7回日本時間栄養学会の開催に当たっての挨拶

早稲田大学、先進理工学部 教授 柴田重信

今回の学会の抄録集は記念すべき抄録集になったと思います。まず、本学会は今年から研究会から学会に移行した最初の大会であるにも関わらず、初めての試みであるオンラインのWEB開催大会になったことでもあります。当初は中止や、順延の可能性の考慮したのですが、他の学会でもはじめられたZOOMによるWEB大会を行うことに決定しました。皆様方に直にお会いして意見交換をする機会を逸することは残念ですが、一方で、旅費・宿泊費等を考えなくて気楽に参加でき、学部学生の参加も容易であるというメリットもあるかと思えます。主催者としては、何らかのメリットを得られる学会になるように努力したいと思えます。また、本大会は午後から、懇親会を経て翌日の午前中開催と初めて2日間の開催を予定していました。今回のWEB大会でも2日間行う予定ですが、懇親会がない分メリットが少し小さくなる可能性があります。また、WEB開催ですと研究内容における秘密性の保持が難しい点があると思えます。この点は発表者の自己責任でやっていただくしかないかと考えています。いずれにしても、今回は初めての試みであるWEB学術大会が皆様の研究活動や社会活動にすこしでもお役に立てることを祈念しております。

第7回日本栄養学会学術大会 プログラム

8月28日（金）

13:00～13:10 開会式+総会

柴田重信（早稲田大学）

13:10～14:25 シンポジウム 時間栄養・運動の現在から将来-1

座長 永井成美（兵庫県立大学）

大池秀明（農研機構/食品総合研究所）

山下陽子（神戸大学大学院）

「カカオポリフェノールのエネルギー代謝促進効果と概日リズムの
関係」

辰巳佐和子（滋賀県立大学大学院）

「血中リン濃度調節機構と日内リズム形成」

志内哲也（徳島大学大学院）

「摂食リズムによる視床下部を介した臓器連関作用」

14:25～14:35 休憩

14:35～15:50 シンポジウム 時間栄養・運動の現在から将来-2

座長 大石勝隆（産業技術総合研究所）

安尾しのぶ（九州大学）

緒形ひとみ（広島大学）

「食事のタイミングが生理指標に及ぼす影響」

岩山海渡（天理大学）

「朝食前の運動が骨格筋および肝臓グリコーゲン濃度に及ぼす影響」

佐々木裕之（早稲田大学）

「運動タイミングによる概日時計と生理機能の調節」

16:00～17:30 ポスターセッション

17:30～18:20 特別講演

座長 柴田重信（早稲田大学）

服部正平（早稲田大学・理化学研究所）

「マイクロバイオームの多様性と変動のメタゲノミクス」

8月29日(土)

9:00~11:00 ワークショップ 個人ベースの時間栄養・運動

座長 田原優(早稲田大学)

小田裕昭(名古屋大学)

道江美貴子(株式会社 Asken)

「食生活管理アプリ「あすけん」による個人ベースの栄養管理の取り組み」

谷本潤哉(株式会社オー)

「スマートフォンアプリによる睡眠改善にむけて」

小島美和子((有)クオリティライフサービス)

「時間栄養学を活用した食コンディショニングプログラムの効果」

小田裕昭(名古屋大学大学院)

「プレシジョン栄養への食事摂取基準の活用と時間栄養学の可能性」

田原優(早稲田大学)

「ヒト大規模データ、動物実験併用による時間健康科学への挑戦」

11:00~11:10 休憩

11:10~12:00 教育講演

座長 香川靖雄(女子栄養大学)

大戸茂弘(九州大学大学院)

「時間薬理学・時間栄養学を基盤にした健康科学」

12:00

閉会の辞

柴田重信(早稲田大学)

ポスター演題

番号	発表者	タイトル
P-1	香川靖雄	朝食による学業成績向上研究の 40 年
P-2	神藤貴江	小学生における朝食時の共食相手と生活習慣との関連
P-3	今村桃子	クラスター解析を用いた朝食の捉え方と身体状況の関係
P-4	能瀬陽子	朝食を軸に生活リズムを整える食育が高校寮生の「朝の目覚め」に及ぼす影響： 起床後体温，血圧，心臓自律神経活動，空腹期胃運動からみた評価
P-5	千々岩樹佳	水溶性食物繊維イヌリンを用いた介入研究における健常高齢者の腸内菌叢変動解析
P-6	西中川剛	大学生における食品群別摂取状況の違いが睡眠状況に及ぼす影響について
P-7	桑原麻衣	桑の葉および大麦若葉茶の間食(ビスケット)との同時摂取が夕食後の血糖値変動に及ぼす影響
P-8	古谷彰子	フルーツグラノーラ間食が夕食後血糖値及び、睡眠の質に与える影響
P-9	青山晋也	運動が唾液中テストステロンの日内変動に及ぼす影響とクロノタイプとの関連
P-10	中尾玲子	大豆タンパク質の摂取はケトジェニックダイエットと筋萎縮による活動時間帯の低体温を改善する
P-11	村田阿子	微細藻類ユーグレナおよび特有成分パラミロンの一過性摂取がマウスの時計遺伝子発現および盲腸内 SCFA 産生に与える影響
P-12	謝宇騁	The Acute Effect of Resistant Starch on Phase Shift of Peripheral Circadian Clock in Refeeding Model
P-13	大坪駿	時間制限給餌による恒明条件下の短期記憶低下の改善
P-14	山崎智弘	マウスを用いたカフェインの抗肥満効果に関する時間栄養学的研究
P-15	小田裕昭	ラット時計遺伝子 <i>E4BP4</i> の発現制御機構と摂食タイミングによるリズム発現変動
P-16	李楠	概日時計に作用するフェノール酸類に関する時間栄養学的研究
P-17	大池秀明	トリテルペノイドによる哺乳類細胞の概日時計調節
P-18	椿香織	菌類抽出物ライブラリーを探索源とした概日リズム調整物質の探索
P-19	赤木靖典	レポーター細胞のタイムラプス測定による概日リズム測定法